

みんなの想い、市政に反映—伝えてつなく、明るい社会

西宮市議会だより

発行：西宮市議会 編集：広報広聴特別委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 Tel.(0798)35-3377



「深秋の溪流」 撮影：前田 正樹さん（甲子園町在住）
 本年8月～9月に募集した作品の中から広報広聴特別委員会において、上の作品が選ばれました。

9月定例会 第125号

目次

- 一般質問……………2～7
- 請願……………7
- 各常任委員会の活動状況……………8～9
- 広報広聴特別委員会の活動について……………10
- 表紙写真の再募集について……………10
- 本会議インターネット中継開始のお知らせ……………10
- みんなが知らない議会アレコレ……………11
- 9月定例会主な審議日程……………11
- 12月定例会 開催日程(予定)……………11
- 議案等審議結果一覧表……………12

9月定例会の主な内容

《市長提出議案等》

平成26年度決算

▽平成26年度の各会計決算を賛成多数で認定しました。一般会計の前年度との比較では、歳入で市税収入などが増加する一方、地方交付税などが減少し、歳出では小学校校舎等増改築事業費などが増加する一方、職員退職手当などが減少しています。

カッコ内は前年度比

企業会計	一般会計		特別会計 (11会計)	
	歳入	歳出	歳入	歳出
中央病院事業会計	▲15億4802万円	▲19億8574万円	811億2641万円(2.7%増)	825億2317万円(2.2%増)
水道事業会計	▲1億1155万円	1億1155万円	1675億5821万円(4.1%増)	1687億5737万円(1.8%増)
工業用水道事業会計	9億8962万円	1億1155万円	811億2641万円(2.7%増)	825億2317万円(2.2%増)
下水道事業会計	9億8962万円	1億1155万円	811億2641万円(2.7%増)	825億2317万円(2.2%増)
利益(▲純損失)	▲15億4802万円	▲19億8574万円	811億2641万円(2.7%増)	825億2317万円(2.2%増)

条例

▽マイナンバー制度が施行されることに伴い、関係条例の規定の整備を行うことを内容とする、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案を賛成多数で可決しました。

▽市営住宅入居者の費用負担等について、所要の規定の整備を行うことを内容とする、西宮市営住宅条例の一部を改正する条例案を全会一致で可決しました。

報告

▽西宮市都市整備公社ほか6団体の第三セクター等の決算終了後、経営の健全性及び公益目的の達成度を市長が点検・評価を行ったことを内容とする、第三セクター等の経営の健全性等の評価等の報告の件7件が議会で報告されました。

紙面中の一部の党派名は、略称で掲載しています。
 政新会…政新会、公明党…公明党議員団、日本共産党…日本共産党西宮市会議員団、蒼士会…蒼士会
 市民ク改革…市民クラブ改革、むの会…むの会、西宮市民…すべての西宮市民、維新の党…維新の党議員団

一般質問

9月定例会では20人の議員が4日間にわたり質問を行いました。質問の一部を要旨で掲載しています。問は質問した議員が作成しています。

中川 經夫 (政新会)

生ゴミ処理対策に

バイオ処理の検討を

問 良質なたい肥としても利用可能な有用微生物「クローブ菌」によるバイオ処理を生ゴミ処理対策として検討すべきと思うが当局の考えを聞きたい。

答 事業系ごみの組成分析と状況把握を行い、生ごみの減量や資源リサイクルが進むよう、バイオ処理の普及も含めた方策について検討していく。

健康ポイント制度の

導入について

問 全国の複数の自治体で健康への環境づくりとして「健康ポイント」制度が取り組まれている。本市も課題を研究し、取

り組む時期と思うがどうか。

答 国の動向や先行自治体の取り組みを参考にしながら、費用対効果を十分に勘案し、市民が主体的に、かつ継続的に取り組めるよう検討していく。



中央病院の移転について

問 中央病院の耐震改修は10億円を超える可能性があるが、実施可否も含め県との協議の進捗状況によって判断すべき。26年度も多額の税金が投入されているが健全化にはほど遠い。アサヒビル跡地に中央病院を先に移転すべきと考えるがどうか。

答 中央病院を先行移転しても直ちに本市の医療課題が解決するものではなく、2段階に分けた建設は費用面でも機能面でも効果的でないかと判断している。(延べ質問時間54分)

坂上 明 (政新会)

18歳選挙権に向けた

教師の資質向上策は

問 今回の制度改正は、憲法改正国民投票権年齢が、平成30年に「18歳以上」へ引き下げられるのに合わせた措置であり、この改正を機として、教育の政治的中立性を堅持しつつ、改めて主権者としての教育の充実が不可欠。愈々、次期参院選から新制度が適用され、これからは高校生はもとより小中学生に対する主権者教育をも重要視される事明白であり、そのレベルに合わせた指導は、かなりのハイレベルな知識とテクニックを要し、教師の資質向上は喫緊の至り命令だが、その策を示せ。

答 教員の自主的な研さんを促し、授業研究会における指導助言、先行事例の研修支援、指導方法の助言を行う。今後とも公職選挙法などの周知に取り組む。

市長の政治姿勢について

問 今村市長は、本市とは法的に全く無関係な西宮市民共済協組・理事会の決定事項、役員人事に対し明確に批判し白紙撤

回を要求、人事介入するべく公文書を発行した。本件は、刑法第193条・公務員職権濫用罪に触れると考える。市長の考えを示せ。

答 設立以来市長が理事長を務めるなど運営に深く携わってきた。理事会での人事案はこれらの経緯等を踏まえていないことから要請を行った。(延べ質問時間53分)

中尾 孝夫 (市民ク改革)

集会所を一時避難所

とつなぐについて

問 風水害等に伴い指定避難所以外に地区集会所等を一時避難所とすべく地域団体と協議しているが、進捗状況を尋ねる。

答 緊急一時避難所として使用する事について施設管理者である各自治会等へ意向調査を行い、大半の集会所等において了承が得られた。今後、各自治会等と具体的な活用方法について協議調整を行い、緊急一時避難所として活用を図っていく。

木造校舎の耐震補強

工事の見直しは

問 旧船坂小学校の木造校舎を来年4月から有料貸出しする

が、耐震補強工事の見直しを尋ねる。

答 市内で唯一残る木造校舎で船坂のシンボリック景観となっていることから、現在の趣や機能を損なわないよう、技術面を含めて関係部局と協議していく。



旧船坂小学校

交通指導員に対する

市の考え方は

問 交通指導員は半世紀以上地域に根付いた奉仕活動を行っているが、経費の負担状況など市の基本的な考え方を尋ねる。

答 指導員には地域の交通安全に御尽力いただいていると考えており、制服制帽の更新費等を補助し、ボランティア保険の加入費用を負担している。今後は指導員の考えも聞いた上で警察署とも協議し、活動のあり方などについて検討していく。(延べ質問時間56分)

野口 あけみ (日本共産党)

4年生以上の学童

保育の実施について

問 8月、鳴尾小等2育成センターでモデル事業として4年生を受け入れた。今後の事業実施の方針、計画を聞く。

答 モデル実施の結果を検証し、来年度は通年利用で市内4カ所程度の実施を目指す。平成30年代半ばを目標に全育成センターで4年生を受け入れたい。



鳴尾育成センター

子どもの貧困対策に

専門部署の設置を

問 平均所得の半分以下世帯に属する子どもが6人に1人、ひとり親家庭では2人に1人という「子どもの貧困」が社会問題となっている。政府は「対策推進法」と大綱を定めたが、自治体での対策が急がれる。市に専門部署を設け、実態把握から

取り組むことを求めるがどうか。

答 本市の現状把握を行うとともに、総合的な施策の検討が必要である。国や県の取り組みを踏まえながら、専門部署の設置を含め、検討していく。

寡婦控除の

みなし適用について

問 婚姻歴のあるひとり親に適用される「寡婦控除」を、未婚のひとり親にも「みなし適用」し、保育料等の負担軽減を図るべきだと考えるが、どうか。

答 実施に向けた検討を進めており、対象事業は多分野にわたるが、まずは平成28年度に子育て支援関係事業から実施し、順次、対象事業を拡大したい。(延べ質問時間50分)

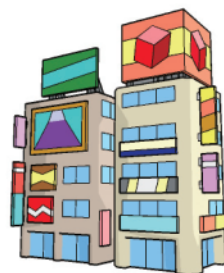
岸 利之 (維新の党)

無許可屋外広告物

への対策は

問 屋外広告物は許可制だが、無許可の屋外広告物に対する対策はどのように考えているのか。

答 許可制度および許可基準をホームページや広報紙を活用して積極的に広報し、必要に応じて商業団体などに説明会を行うなどさらなる啓発に取り組む。



西宮ストークス

試合時の渋滞対策は

問 今年の10月から中央体育館でプロバスケットボールチーム西宮ストークスの試合が開催されるが、駐車場及び周辺道路の渋滞対策は大丈夫か。

答 車での来場者がこれまで以上に見込まれる場合は、ほかの大規模な大会などと重ならないよう調整し、臨時駐車場の開設を含めて対応を検討する。(延べ質問時間27分)

川村 よしと (政新会)

自然学校指導補助員

確保に大学と連携を

問 今年5月、自然学校指導補助員の大学生が逮捕される事件があった。同様の事件や事故を防ぐためにも「引き受けてくれたら採用」という実態を改善する必要がある。指導補助員は、延べ人数で年間320名必要だ

が、教育委員会で管理する登録者は20〜30名程度と大変少ない。適正のある人材をより多く採用するために、市内の大学と連携することが有効だと考えられるが、市の見解は。

答 大学との連携協定を生かした仕組みづくりを進めており、大学での説明会開催などにより、意識の高い学生の参加と継続的な人数確保を期待している。

政策アドバイザーの

採用方法について

問 今年の2月、政策アドバイザーという職が突然公募された。週3勤務で年収600万円という好待遇でハイレベルな人材の採用であったが、市の広報は市政ニュースとHPのみ、募集期間はたった1週間と不自然な点が多かった。結果として、私が半年前の質問で予言した市長の友人Dさんが採用されたが、これは法的にも道義的にも問題ないと考えているのか。

答 公務員の採用は、公正性が最も重要視されるべきものであり、それが疑われることのないよう、今回の件も公平公正で公開された方法をとっている。(延べ質問時間54分)

村上 ひろし (西宮市民)

市での業務効率化

の取り組みは

問 今年6月議会で、私が提案した土日夜間に議会を開催して、納税者の大多数を占める勤労者の市政への参加を促す提案に対して、当局側は残業が増えるので効率的でないなどという答弁をされた。それならば、市の業務において効率化が図られているはずであるが、どのような業務の効率化がなされているのか。

答 地方自治法の原則(住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならぬ。)のもと日々業務に当たっている。



(次ページに続く)

一般質問(続き)

公共工事の適正な

価格設定について

問 公共工事の在り方に関して、予定価格や最低制限価格は適正に設定されているのか。

答 予定価格は国や県が定める労務単価等により、最低制限価格は中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデル式で算出し、いずれも適正に設定している。

低下し続ける投票率

の原因分析は

問 今年の市議会選挙の投票率は史上最低であったが、投票率の低下し続けている原因は何か分析検討を行っているのか。

答 市民意識調査では、適当な候補者も政党もない、仕事や用事と重なる、政策や候補者の人物などがよくわからない、が選挙に行かない理由であった。(延べ質問時間42分)

竹尾 ともえ(公明党)

ひとり親家庭支援に

対する市の考えは

問 子どもの貧困防止対策はひとり親への自立支援が重要ですが。そのために「母子家庭等就業・自立支援センター」を早期

に設置して支援を行なうべきと考える。市の考えを聞く。

答 就業支援や自立支援にかかわる事業のさらなる充実を検討するとともに、センター設置についても、今後、先進市の状況なども見ながら研究していく。

モバイルを活用した

子育て情報の配信を

問 今や子育て世代に発信された情報は、携帯電話やパソコンなどで、いつでもどこでも入手できる。市として、子育て世代が知りたい必要な情報を、モバイルを活用して配信することについて考えを聞く。

答 情報発信の方法として非常に有効な手段と考えている。本市では利用者ごとに必要な情報が送られる仕組みを検討しており、早期実施に向け取り組む。



市は危険箇所

防犯カメラの設置を

問 市内危険箇所への防犯カ

メラの設置は、地域や警察と情報共有し市が行なってはどうか。

答 自治会などが防犯カメラを容易に設置できる新しい補助制度を平成28年度に計画している。設置の際は、行政・警察・地域住民間で情報共有に努める。▼その他の質問 西宮版地方創生、健康づくりと介護予防ほか

(延べ質問時間67分)

菅野 雅一(着士会)

津波避難ビルに

ついでの周知を

問 南海トラフ巨大地震での津波避難ビルへの効果的な避難方法の周知をどのように行うのか。多くの市民は避難ビルについてあまり知らず、迅速に避難できない恐れがある。

答 日ごろから津波避難ビルの場所と入り口を確認することが必要と考え、出前講座などで確認を啓発している。地域主催の防災訓練でも呼びかけていく。

甲子園浜の自然を

保護しよう

問 なぜ市は都市計画道路網の見直しで国指定の鳥獣保護区がある甲子園浜を縦断し、自然環境を破壊する都市計画道路浜

甲子園線(甲子園筋)延長計画を存続の方向で進めるのか。

答 貴重な甲子園浜の自然を次世代に引き継ぐ方針に変わりはない。自然・住環境の保全や地域の理解が重要で、事業化は慎重に判断すべきと考えている。



甲子園浜(鳥獣保護区)

子供たちを犯罪被害

から守るには

問 大阪府寝屋川市の中学1年生の男女が遺体で見つかった事件はとても痛ましい。事件の背景にある子供の深夜の徘徊をなくすために市や地域社会は何をすべきか。

答 青少年補導委員や自治会各種団体などが地域を回って子供たちの見守りや声かけを実施し、青パトが市内を巡回している。啓発や活動の充実に努める。(延べ質問時間65分)

一色 風子(西宮市民)

子どもの権利条例に

関する市の考えは

問 多様な社会の中で自分らしく安心して生活できるように子どもの権利を守る「子どもの権利条例」等の制定についての市の考えを問います。

答 条例を制定する予定はないが、改正地方教育行政法に基づき、今年度中に教育に関する大綱を策定する予定であり、子供に関する政策推進の礎にしたとと考えている。

いじめをなくすための

今後の啓発活動は

問 子どもに限らず全市をあげて「いじめ」をなくしていくという姿勢をもつためにも、いじめ基本方針等の啓発を今後どのように考えているのか。

答 PTAや地域の会合などで学校や市のいじめ防止基本方針を積極的に周知するなどの啓発に努め、市民総がかりでいじめのない社会の実現を目指す。

子ども議会について

問 幅広く子どもたちの声を聞き、それに真摯に応えるよう

な「子ども議会」を設けることについて市の考えを問います。

答 子ども議会は、子供たちの市民としての社会的意識を育て、子供たちの意見を今後の施策に反映させることもできる有益な取り組みである。今後は、子ども議会も含め、子供たちの意見を聞く機会としての効果的手法を総合的に検討する。

(延べ質問時間43分)

上田 やち子 (日本共産党)

市役所トイレ

洋式化の検討状況は

問 多くの市民が訪れる市役所のトイレを、高齢者や障害のある方々にも利用しやすい洋式トイレに改善すべきと考えるがどうか。

答 省スペースな製品を使用することにより、区画数を減少させずに洋式便器化を進める方法について、費用面との関連も含め、検討している。

国民健康保険料

の引き下げを

問 国民健康保険料の抑制のために、この間一般会計より繰り入れを行っている。しかし一方で、保険料は徐々に引き上げ

られ、4人家族・所得200万円の世界で2万6千400円もの値上げとなった。

一方、国保会計は毎年黒字を計上、積みたてた基金は23億円にもなった。この原因は、医療給付費総額の過大な見積もりから保険料を高く設定し、結果として多額の決算剰余を生み出し基金が大きく増えたことによる。

所得が低い世帯、高齢者世帯が多く加入する国民健康保険の保険料を、積みたてた基金を活用して引き下げ、市民のいのちとくらしを守るべきと思うがどうか。

答 国民健康保険財政安定化基金は国民健康保険財政の長期的な安定した運営を図るために設置したもので、保険料引き下げのために取り崩すべきでない。

(延べ質問時間49分)

長谷川 久美子 (むの会)

性的少数者LGBT

への理解と支援を

問 広告会社によるインターネット調査では7・6%、13人に1人がLGBTに該当するとの結果。約3万8千人にあたる西宮市民に、行政の事業・サー

ビスにおいて、LGBTであることによる不利益や無配慮があることはならない。西宮市教委は教員向けのリーフレットを作成し、啓発を進めていると聞く。

問 LGBTについては、男女共同参画プラン中間改定において、「人権が尊重される社会づくりのための意識啓発」に係る事項の一つと位置づけており、市職員に対する研修も性的マイノリティーの理解と支援のためのものであると考えている。

答 LGBTについては、男女共同参画プラン中間改定において、「人権が尊重される社会づくりのための意識啓発」に係る事項の一つと位置づけており、市職員に対する研修も性的マイノリティーの理解と支援のためのものであると考えている。



LGBTに関するリーフレット

市の未収債権等の状況について

問 税の滞納、国保を含む公債権の収入未済は深刻な問題。本来財源として使えるものが、毎年不納欠損となつて消えてなくなっている。船橋市では、熱意ある担当課長が「収入未済は職員的不作為」と、公金徴収一

元化に取り組んでいる。市の不能欠損・未収債権等の状況は。
答 平成25年度決算の不能欠損額は11億円、収入未済額は124億円と19年度決算より49億円減少している。平成26年度決算でも前年度比で13億円の減となる見込みである。今後も未収金の削減に努めていく。

(延べ質問時間63分)

上谷 幸美 (政新会)

情報を統合して

迂回路情報の発信を

問 豪雨等による市内道路に通行止めが生じた際、防災ネットワークによって通行止めの情報だけでなく、市内外の情報を統合して立往生する人たちのために迂回路情報案内を発信することはできないか。

答 市道等の通行止め情報に加え、近隣市の通行止め情報を相互に把握することにより、迂回路情報として案内できないか近隣市と協議を行っていく。

超高齢社会を見据え

看護人材の確保を

問 超高齢社会を迎える中、国は、在宅サービスの強化に乗り出すと表明。それに伴い、看

護職員の数は不足する。看護師は女性の割合が高く、出産、子育て、介護など様々な理由から退職し、潜在看護師となる方も多数存在する。今後は、訪問看護師の育成や、潜在看護師のための復職支援が必要と考えるが市の政策はどうか。

答 潜在看護師就労支援講座の実施や大学と連携した訪問看護師養成研修の必要性は認識しており、本市でも先進市の事例研究を進めていきたい。



▼その他の質問 豪雨等による通行止め時の本市北部地域における救急事案対応について、超高齢社会における介護人材の確保について、西宮市立中央病院における「h-Anshinむこねっと」の活用について

(延べ質問時間49分)

(次ページに続く)

一般質問(続き)

八代 毅利(公明党)

リノベーションを

活用したまちづくり

先進市では、専門家と建築等を学んだスクール生が遊休不動産の有効活用を検討し、利用計画を作成、提案するリノベーションスクールを活用したまちづくりが行われているが、本市でも取り組むはどうか。

不動産オーナーの理解やサポートするまちづくり会社の存在が不可欠で、同社の設立には当初から民間主導の組織が求められる。これらの課題や商店街の空き店舗の実情を踏まえ、有効性や実現性を研究していく。

店舗協働型認知症

カフェの開設を

一般の喫茶店で行う店舗協働型認知症カフェを開設してはどうか。

地域の喫茶店を活用した認知症カフェは、認知症の方が気軽に利用でき、一般の方にも認知症への理解が進められ、大変有効である。今後も、地域のさまざまな資源を活用し、認知症の方とその家族が安心して過

せる居場所づくりに取り組む。



防災ヘルメット導入

について市の考えは

学校の非構造物の耐震化を進めているが、防災ヘルメットを導入してはどうか。

災害から身を守る際は、頭部の保護を最優先すべきである。防災ヘルメットの導入については、先進市の例も参考にして、今後の課題として研究する。

(延べ質問時間59分)

福井 浄(維新の党)

発災時のヘリポート

確保の対策は

レベル2の南海トラフ大地震発災時、臨時ヘリポートに人や車の避難が想定される中、確保の為に対策はあるのか。

臨時離着陸の適地7カ所のうち、6カ所は専用のヘリポ

ートではなく、災害時に離着陸の支障となるものがあれば除去するなど、円滑な運用に努める。

広域防災拠点

浸水時の救助拠点は

阪神南広域防災拠点が浸水により機能しない時の救助拠点を市内のどこに設けるのか。

県の広域防災拠点と市の地域防災拠点は役割が異なるが、阪神南広域防災拠点が利用できない場合の影響については、関係機関と意見交換を行っていく。

その他の質問 健康長寿、医療費抑制の為に生活習慣病対策

(延べ質問時間32分)

町田 博喜(公明党)

市営住宅の緊急通報

システムの拡充を

市営住宅の災害公営住宅に設置している緊急通報システムの拡充を望まれているが、市の方針はどうか。

整備後15年が経過し、老朽化による誤作動で周辺の入居者に迷惑をかける状況が目立っており、当該システムを広げていくのは困難である。簡易なシステムの導入や他市の先行事例などを参考に調査研究に努める。

子育て相談窓口の

拡充について

子育て相談窓口を拡充していくうえで、利便性の良い商業施設などに設置することも考えられるがどうか。

相談に来ない人、来られない人をいかに窓口と結びつけ、支援していくかが重要な課題であり、今後は利便性の高い商業施設などへの設置も視野に入れた検討を進める必要がある。



子供支援案内窓口(本庁舎1階)

高齢者の買い物支援

今後の対応は

高齢化が進む中、商業施設まで遠い地域に住む高齢者に対して、移動販売などの買い物支援について今後の対応はどうか。

地域の実情に即したサービスを創出していく必要がある。

移動販売や宅配サービスなどの情報収集に加え、近隣商業施設と連携した買い物支援ができないか働きかけを行うなど、民間サービスが充実するよう努める。

(延べ質問時間53分)

はまぐち 仁士(著士会)

幅広い年齢層に

自転車マナー浸透を

自転車のマナーやルールはまだ多くの市民に浸透していない。事故抑制の為に、全小学校で交通安全指導を実施し、幅広い年齢層に必要なマナーやルールを啓発すべきと考えるが。

今後、全小学校で交通安全教室が実施されるよう取り組み、高齢者や保護者にも自転車安全教室への参加を促すなど啓発活動を拡充していく。

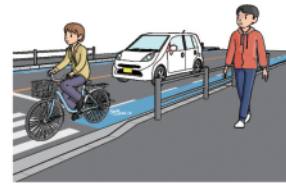
自転車走行の新たな

課題の改善策は

自転車道路整備について道路交通法の改正により自転車が車道を走行することによって生じる新たな課題に対して本市はどう改善を図るのか。

自転車事故の状況を踏まえれば車道の自転車安全対策は重要課題である。国・県の道路

管理者や所轄警察署と協議しながら実施可能な対策を検討する。



市民に公園ごみ箱

問題を考える機会を

公園ごみ箱の問題に関し地域、あるいは市民から公園内のごみ箱の撤去について要望があった場合、市は積極的に対応していくのか。

一部のパークのごみ箱に生活ごみなどが捨てられている現状は把握している。問題が発生している公園から、地域の方と相談し、ごみ箱の撤去を進める。その他の質問 情報公開への取り組みと今後の展開について (延べ質問時間58分)

岩下 彰 (市民ク改革)

自然学校での食物

アレルギー対応は

自然学校が実施されている山東自然の家、丹波少年自然の家での食物アレルギー対応に

おける課題解決へ向けての取り組みは。

加工食品の原材料表を、丹波少年自然の家では既に作成・配布している。山東自然の家でも、施設を運営する指定管理者と協議を行い、来年度から配布できるよう進めていく。

名神高速道路の

延伸について

名神高速道路と湾岸道路の連絡は必要と考えるが、計画はどのようになっているのか。

平成25年8月以降2回の地方小委員会開催とアンケート調査が行われた。今後は第2回アンケート調査を実施し、オープンハウス等も開催し、関係市に対する意見照会を経て、次回以降の地方小委員会で対策案が選定されることになっている。

山手幹線4車線化

の進捗状況は

山手幹線の中津浜線との交差点以東の4車線化へ向けてはどうなっているのか。

阪神大震災以降に整備した区間は、整備時の交通状況や地元意見を踏まえ、暫定的に2車線で供用している。全線4車線化は事業中の熊野工区も含め、

今後の交通状況を的確に判断し、関係機関や地元自治会等と協議し、適切な時期に実施する。

(延べ質問時間51分)



山手幹線事業用地

杉山 たかのり (日本共産党)

UR借上げ住宅の

今後について

URから市が借上げた市営住宅、シティハイツイ西宮北口は9月末で20年の期限を迎えるが、市は根拠もなく全員転居を求めており、出ないものは訴訟するとしている。解決のためには他自治体同様、継続入居しない。何も悪くない入居者を訴訟で追い出すことに正義があるのか。転居できない入居者は10月以降どういう扱いになるのか。

市の使用許可なく居住を継続された場合、URに市民の税金で損害金を払い続けなければならぬ。問題の長期化が避

けられない中、公平性の観点から致し方なく司法に判断を委ね早期解決を図るものである。10月以降住みかえに配慮を要する世帯は、最長5年入居し続けられるよう支援策を講じている。

名神湾岸連絡線

住民の意見把握を

名神湾岸連絡線は環境を悪化させる不要事業である。国は計画段階評価を取り組み、地元市の意見聴取もある。市は当該地区の住民の意見をどう把握しようとしているのか。

国において住民等の意見や要望が十分反映される方策を講じられることが重要であり、2度のアンケート調査では沿道地域に高い割合で調査票が配布される。沿道住民の意見がより反映されるようオープンハウスなどの開催を国に求めていく。

(延べ質問時間51分)

わたなべ謙二郎 (維新の党)

臨時財政対策債について

臨時財政対策債は地方交付税算定の仕組み上、本市において不可欠な歳入であるが、国が地方に渡す交付税の財源不足

を補うために市が肩代わりしている借金であるという側面がある。大型の事業が想定されなければ、発行額の抑制が可能ではないか。

厳しい財政運営が続くことが想定され、貴重な財源として国から示された発行可能額の満額発行が前提となるが、多額の実質収支黒字確保が見込める時は、臨時財政対策債を含めた市債全体の発行を抑制することも考えられる。臨時財政対策債はここ数年高止まりし、持続可能な制度とは言い難く、国に対し全国市長会などを通じて地方財源の確保を引き続き要望する。

(延べ質問時間28分)

請願

【不採択】

○むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業計画についての請願

【みなし採択】※

○災害ボランティア割引制度に関する意見書提出を求める請願

※「みなし採択」とは、同じ趣旨の意見書案が可決されたため、「採択」とみなされたものです。

各常任委員会の活動状況

常任委員会は、議会が市の事務について調査を行い、議案や請願などを詳しく審査するために設置する常設の委員会です。西宮市議会には担当分野ごとに5つの常任委員会があり、議長を除く全議員がいずれか一つの委員会に所属しています。各常任委員会で審査を経たのち、全議員が議場に集合する本会議にて議会としての意思決定がなされます。

また、本市議会では、独自の取り組みとして、常任委員会ごとに重点的に調査を行うべき内容について、年間の「施策研究テーマ」を設定し、本会議が開催されない日などを活用して、委員会で調査・研究を行っています。

※今号は「施策研究テーマ」と「管内視察」について各委員会の委員長が中心となって作成しています。

総務常任委員会

総務常任委員会が審査、調査の対象とする部局は、防災危機管理局、政策局、総務局、会計室、市議会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、消防局ですが、他の常任委員会の所管に属しない事項についても、本委員会が担当します。

本年度の施策研究テーマは「**地域人口ビジョンの課題について**」と「**危機管理センターについて**」です。

国は少子高齢社会に対応するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、自治体にも地方版総合戦略の策定を求めています。西宮市は「人口ビジョン・総合戦略」を今年度中に

策定する、としています。本委員会は、西宮市という地域の人口変動に関連する課題を探り、人口の地域間格差を見極めた研究・提言をしたいと考えています。

本年3月の本委員会において第4次西宮市総合計画・基本計画変更案の内容について「(仮称)総合防災センターを整備します」との修正案が出され、本会議で賛成多数で可決しました。その結果、市は「危機管理センター」として具体的な計画を進めています。

本委員会は、災害対策本部機能、情報通信指令機能、要員生活支援機能など、さまざまな災害に対応できる機能について先進自治体を参考にしながら研究

し、市の計画に向けて提案する予定です。

管外視察は、地域人口ビジョンに関連して**埼玉県春日部市**に危機管理センターについては**埼玉県危機管理防災センター**に伺う予定です。施策研究テーマを決定する過程で浮上した「公金徴収の一元化について」も先進市である**千葉県船橋市**を訪問し、詳細を調査する予定です。

民生常任委員会

民生常任委員会の所管は市民文化局・産業環境局・農業委員会、委員会で、これらの局等に属する事項について、専門的に審査します。

民生常任委員会の**今年度施策研究テーマ**として、

解説

管内視察と管外視察って？

管内視察とは各委員会が担当する西宮市内の事業・施設などを見学し、進捗状況等の説明を受けるものです。

管外視察とは各委員会が担当する西宮市外(主に他の自治体)の事業・施設等を見学し、進捗状況等の説明を受けるものです。管外視察後は、視察内容を踏まえて委員間で意見交換を行い、市に対して提言を行っています。

1. 防犯灯の維持管理のあり方について

2. 空き家対策について

防犯灯については、これまでの防犯協会の各支部・分会(自治会)で地域に応じた維持管理をしていたいてきましたが、来年度からは市が直営で行うこととなります。そこで、当委員会は、直営化に向けた進捗状況を担当課より随時聴取し、市内の現状把握を行う一方、他市の取り組み等も調査していきます。委員会としても、防犯灯の維持管理業務が、スムーズに移管できるように尽力していきます。

2項目目の空き家対策については、全国的にも空き家率の増加で深刻な社会問題となりつつあることから、研究テーマに取

り上げました。国において、今年5月、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、西宮市も特定空き家等の判断基準の策定などを行うとしています。空き家は、全国で820万户(2013年データ)で、年々増加しています。空き家条例を制定した自治体は、昨年10月時点で400以上あり、本市においても取り組みが急がれるところです。委員会としては、市の実情に即した空き家対策となるよう調査研究を進めていきます。

管内視察先は船坂小学校跡施設で、7月に実施しました。旧船坂小学校の建物は、現在では希少価値が高い木造校舎であると専門家から聞いています。地域コミュニティ活性化の拠点としても役割が期待されます。

健康福祉常任委員会

①当委員会の研究テーマ

◇県立西宮病院と市立中央病院の経営統合問題について

【選んだ理由と目標】

県・市各病院の経営統合問題は本市にとって大変大きな課題ですが、現在兵庫県側の回答待ちであり、予断を許さない状況です。委員会として統合問題に対する基本的な考え方を示し県の決断を促すため、県に提言することを目標としています。

◇特定疾病患者見舞金支給制度の在り方について

◇高齢者交通助成事業の在り方について

【選んだ理由と目標】

両件とも予算審議において議会が修正させた事業です。見舞金については法改正で国の指定難病が56種から306種に増えたことに伴う廃止を、交通助成は高齢者の増に伴い、年間助成5千円から3千円に減額をそれぞれ市が企図したのですが、議会に対する事前協議、市民への広報がなかったため、議会として一旦元に戻すよう予算を修正しました。

この責任を負うため、両事業について再度調査・研究し、今後の在り方について市と協議して参ります。

最終的には提言を通して両事業の新しい在り方が確立されることを目標とします。

②視察について

管内視察（市内の視察）は7月に新規開設の特別養護老人ホーム第2シルバークレスト甲子園及び県立西宮病院を訪問しました。また管外視察（市外の視察）は研究テーマに基づき市・県両病院の統合を果たした一宮市民病院、特定疾病患者見舞金を廃止したさいたま市と金沢市、高齢者交通助成事業を廃止した千葉市を訪問し、その経過と結果について調査して参ります。

教育（こども）常任委員会

①施策研究テーマについて

教育子ども常任委員会では、委員間協議の結果、「不登校の現状と教育・療育環境の向上について」を、本年度の施策研究テーマに決定しました。

全国における不登校の小・中学生は、2014年の調査で合計12万2千902人。

比率にすると、およそクラスに1人は存在することになります。もちろん、本市でも重要な課題となっております。

文部科学省は不登校の定義を「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」としています。

単に登校していない状態を指すのではなく、理由や期間により除外される場合があるのです。

それゆえ、発表されている児童生徒の数は、本当はどうなのかという議論も生まれるでしょう。

そして、課題解決に向けては、いろいろなアプローチが考えられます。

例えば、その一つでもあるフリースクールについて、先頃、文科省は、教育制度上の位置づけや経済的支援のあり方について検討を始めたというニュースもありました。

「不登校で最も苦しんでいるのは、子どもたち自身である。」この前提のもと、本委員会では、これから研究を深めてまいります。

②管内視察報告について

教育子ども常任委員会では、8月7日（金）に、管内視察を行いました。視察先は、通常3年生までのところを、モデル事業として、8月に4年生を受け入れた「鳴尾留守家庭児童育成センター」と「つぼみの子保育園病児保育ルーム」に伺いました。

建設常任委員会

本委員会では、都市局・土木局・上下水道局に関わる事務を所管しており、市民の皆様が普段から利用される道路や橋の整備、戸建て住宅や集合住宅の建設の許可、また、上水道から下水道まで、幅広く市民の皆様の生活に関わっております。

建設常任委員会の今年度の施策研究テーマは、

- 1. 都市計画道路について
- 2. 交通安全対策について

（自転車関連）

となっております。

「都市計画道路」は、その多くが戦後すぐに計画されたもので、当時、西宮市や近隣市の将来を予測し、道路網として必要と思われる道路を「都市計画道

路」として計画しました。

現在も、都市計画道路の整備事業は進捗中です。平成22年に山手幹線が、尼崎市の戸ノ内から、神戸市の長田まで全線開通したことをご存知の方は多いのではないのでしょうか。

先述の通り、都市計画道路はその決定からかなりの年数が経っており、西宮市でもその見直しを始めております。本委員会としては、都市計画道路ごとにその必要性・重要度などを検討し、市に提言して参ります。

また、交通安全対策について（自転車関連）も、とても重要な課題です。自転車は車道走行が原則ですが、幼い子どもや、小さなお子さんを乗せたお母さんが、自転車で車道を走るのは、非常に危険です。西宮市としても、早急に何らかの方向性を示さなければなりません。

管内視察

建設常任委員会では、8月7日に、阪神本線連続立体交差事業（鳴尾工区）と越水浄水場を視察しました。



広報広聴特別委員会の活動について

特別委員会は、重要だと考えられる特定の分野について、議会の閉会中でも集中的、継続的に調査や協議等を行うために設置する委員会です。

西宮市議会では、平成26年度に議会基本条例を定め、議会の本来あるべき姿などを細かく定義しました。

広報広聴特別委員会は、今年6月に設置され、主に議会の広報や情報の取り扱いに関する件を調査、協議していますが、議会の情報発信において、議会基本条例で定められたあるべき姿を体現するために設置された委員会とも言えるでしょう。

形式的な情報発信に留まらず、住民の皆さまに実際の議会の息づかいが聞こえてくるような活動を目指していきたいと思えます。

その具体的な手段として、現在集中して推進している案件を順に説明させていただきます。

①議会だよりの拡充

今回の議会だよりから、ページ数を4ページ増やして全12ペ

ージにすることが決定しました。各議員が政策研究を行ってきただものを市に提案する『一般質問』のページを2ページ増やし、より詳細な説明をすることが可能となりました。

また、議会に関する用語の解説や、議会の雑学(11ページに掲載)などのコンテンツも充実させていきます。是非、ご感想をお聞かせください。

☎0798-351-3377

②本会議のインターネット中継

今回の定例会から、インターネット中継が始まりました。

(詳細は下記参照)

本委員会では、カメラアングルやテロップ表示など、運用上の細かな実務も含めた要綱を定めました。

リアルタイムで本会議の様子を配信することで、情報公開の即時性と透明性を高め、より開かれた市議会を目指します。

9月定例会での実施を踏まえて課題を精査し、次回定例会以降の中継に活かせるよう協議を進めていく予定です。

③議会資料のデータ化、タブレット端末の活用

市議会ですら紙の資料は膨大

な量になります。紙の節約はもちろんですが、仕事の効率アップのために資料をデータ化し、タブレット端末を活用することは大変有効な方法だと考えられます。

また、議会内での仕事だけでなく議会外、例えば私たち議員が、市民の皆さまに資料をお見せして、市の施策を説明する際にも利便性の高いツールになるでしょう。

現在は、業者とプランの選定を終え、どの資料をデータ化するのか、資料閲覧以外にタブレット端末をどのように活用するのかといった、主に運用面についての協議を進めています。

また、導入に向けて全議員を対象にした研修・勉強会を企画し、12月定例会からタブレット端末を試行実施する予定です。その後、3月定例会での本格導入に向けて、取り扱いの注意点などの課題を精査し、協議を進めていきます。

現在、集中して協議を行っているものは以上になりますが、今後、議会報告会の件など、議会情報の積極的な公開に向けた取り組みを進めていきます。

「市議会だより」の表紙写真を再募集します

- ◆テーマ 西宮市内の魅力を紹介できる写真
(冬から春頃の時期)
- ◆規格 カラープリントL版(横)
- ◆応募方法 作品に写真のタイトル、住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日を明記したものを添え、郵送または持参してください。
- ◆選考 広報広聴特別委員会で行います。
- ◆注意事項
 - ※作品は未発表・オリジナル作品に限ります。人物が明らかに特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。掲載の都合上、トリミングをすることがあります。
 - ※採用の発表は紙面にて行います。また、タイトル、氏名、住所(町名)を掲載します。
 - ※応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ◆その他 採用された方には粗品を進呈いたします。
- ◆応募先 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
議会事務局 議事調査課
Tel (0798) 35-3377

募集期間 平成27年12月28日(月)まで

本会議インターネット中継を開始

インターネットで本会議がご覧になれます

議会の活性化及び透明化促進の取り組みとして、平成27年9月定例会から、本会議インターネット中継を開始しました。ご自宅にいながら、インターネットによるライブ中継(生中継)で本会議の様子が視聴できるほか、録画中継(会議の翌日から、おおむね1週間後に視聴可能)では、会議内容を選択して視聴することもできます。普段、お仕事などで本会議を傍聴することができない方、見逃してしまった方など、ぜひ、このインターネット中継をご活用ください。

■視聴方法

西宮市議会のホームページ

(<http://www.nishi.or.jp/homepage/shigikai/>) の

■ 本会議インターネット中継 からご覧ください。

スマートフォン、タブレットからも視聴可能です。

みんなが知らない

議会アレコレ

ここでは、みなさんが知らない議会のちょっとした情報を、クイズ形式でお伝えしたいと思います。

今回と次回(12月定例会号)では、テレビや新聞報道などで話題の『政務活動費』に関するアレコレをお伝えしたいと思います。

Q

政務活動費について、年間100日以上も温泉地に行って視察したという嘘の報告をしたり、用途不明瞭で大量に切手を購入したり、いろいろな事件がテレビや新聞で取り上げられていますが、西宮市議会は大丈夫なんでしょうか？

A

政務活動費の使い方は、各都道府県、市町村で異なります。西宮市議会では、平成23年に『政務調査費(現在の政務活動費)運用に関する手引き』を作成し、適切な運用を行ってきました。

これは、昨年世間を騒がせた、兵庫県議会の事件などが起こる以前の事です。実際に、西宮市では政務活動費を使って行った視察に関しては報告書の提出が義務付けられているので、合理的な説明ができない視察に、政務活動費を計上することはできません。

また、問題になったような用途不明瞭な切手の購入はできません。更に、西宮市では各議員の政務活動費の使用状況をインターネット上で公開しており、今年度からは領収書等の証拠書類も公開することになりました。10月30日から公開しています。

政務活動費の金額も2割削減するなどの改革も進めていますが、引き続き、情報の透明性を高める工夫を行っていききたいと思います。

次号では、政務活動費の使い方について、より具体的な事例を紹介させていただきます。そこで、ひとつ問題です。

Q

A議員は、友人に誘われた異業種交流会の後に、居酒屋で行われた懇親会に参加しました。そこには、他市の市議会議員や国会議員の方も参加しており、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、そこで得た情報から、本会議で一般質問も行いました。さて、次のうち政務活動費に充当できるのはどれでしょうか？

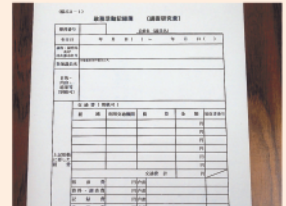
- A. 異業種交流会で配った名刺の印刷代 1万円
- B. 居酒屋での懇親会の会費4000円
- C. 居酒屋からの帰りのタクシー代



→答えは次ページ下の欄外へ



▲政務活動費運用に関する手引き



▲政務活動記録簿

10月	9月										8月	9月定例会 主な審議日程	
2日 (金)	30日 (水)	29日 (火)	28日 (月)	25日 (金)	16日 (水)	14日 (月)	11日 (金)	9日 (水)	8日 (火)	7日 (月)	4日 (金)		31日 (月)
決算特別委員会(全体会) 本会議 委員長報告、 討論、採決(決算)	決算特別委員会 (総務・民生・建設分科会)	決算特別委員会 (総務・健康福祉・教育)とも分科会	決算特別委員会 (健康福祉・教育)とも分科会	決算特別委員会 (全体会)	本会議 委員長報告、 討論 採決 委員会付託(企業会計決算・一般・特別会計決算)	常任委員会 (民生・建設)	常任委員会 (総務・健康福祉・教育)とも	本会議 一般質問(2人) 質疑、委員会付託		本会議 一般質問(18人)			本会議 提案説明

●開催予定時刻は10時です。なお、日程は変更になる場合があります。お問い合わせ先 ◆議会事務局 議事調査課 (0798)35-3380	12月										11月	12月定例会 開催日程(予定)
	16日 (水)	15日 (火)	14日 (月)	11日 (金)	10日 (木)	8日 (火)	7日 (月)	4日 (金)	3日 (木)	27日 (金)		
	予備日	本会議 採決など		常任委員会		本会議 一般質問、 質疑など		本会議 一般質問		本会議 提案説明		

12月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、12月3日(木)午後5時までです。

問い合わせ先: 議会事務局 議事調査課 Tel (0798) 35-3377

平成27年9月定例会

議案等審議結果一覧表

全会一致で可決されたもの

市長提出議案	決算	平成26年度決算 水道事業会計／工業用水道事業会計／下水道事業会計／病院事業会計／水道事業会計利益剰余金の処分／下水道事業会計利益剰余金の処分
	条例	一部改正 市営住宅条例
	予算	平成27年度補正予算 公共用地買収事業特別会計補正予算（第1号）
	案件一般	財産取得（西宮養護学校通学バス）／訴え提起（災害援護資金貸付金請求事件、市営住宅等明渡し等請求事件）／工事請負契約締結（西部総合処理センター焼却施設改良工事）／工事請負契約変更（第46小学校新築工事）
	報告	処分報告の件 {〔平成27年度一般会計補正予算（第2号）〕専決処分}
	人事	教育委員会委員の任命／人権擁護委員の候補者推薦
議員提出議案	意見書	災害ボランティア割引制度に関する意見書

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

会派名	政新会							公明党議員団					日本共産党 西宮市会議員団				蒼士会		市民 クラブ 改革		むの会		すべての 西宮市民		維新の党 議員団																							
議員名	採	大	上	川	坂	篠	田	中	や	吉	大	町	山	山	竹	大	松	八	上	佐	庄	杉	野	ま	草	八	瀧	菅	は	岩	河	中	花	ざ	西	長	一	村	よ	岸	福	わた						
案件名	決	石	谷	村	上	原	中	川	正	井	川	原	田	山	尾	原	山	代	田	藤	本	山	口	お	加	木	谷	野	ま	下	崎	尾	岡	こ	田	谷	色	上	つ	利	井	な						
算歳び一平 入特般成 歳別会26 出会計及 決会計年度	○																																															
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○																																															
3号) 一平成 正一般 算会27 補計年度 (第補	○																																															

採決結果の○は、提出された議案などが賛成多数で可決されたことを示しています。